

- ・膀胱炎
- ・間質性腎炎

#### ■感覚器

- ・耳下腺炎，流行性耳下腺炎（おたふく風邪）
- ・急性/慢性中耳炎：ベッドの温かさで痛みが悪化します。
- ・結膜炎，眼瞼炎：熱と光で悪化します。焼けるような刺激性の涙が出ます。炎症によって黄色いめやにも出ます。
- ・角膜炎，角膜潰瘍，虹彩炎
- ・角膜潰瘍：慢性のパンヌス（血管新生）を伴います。

#### ■精神神経系

- ・手足のふるえ：疲労や感情的ストレスで悪化します。とくに書き物をしたり，食事のとき。
- ・恐怖症
- ・頭痛
- ・学習障害
- ・パーキンソン病

#### ■皮膚

- ・化膿性湿疹：かゆみがあり，温めたり，発汗で悪化します。
- ・皮膚の潰瘍病変：通常浅く広がる傾向があります。
- ・乾癬

- ・皮下膿瘍

#### ■その他

- ・腫瘍
- ・結合組織病

#### MODALITY

▶ **適度な温度環境**（人間体温計とも呼ばれています），性交，休息など

◀ 夜，右側を下にして寝ること，発汗，高温や低温の気候，隙間風，足を濡らすこと，雨や湿気，排便前，排尿中と排尿後など

このレメディでは，好転する要因となるものは限られていますが，悪化する要因は多くのものが存在します。

#### RELATIONS

Antidote : Hepar sulphur, Mezereum, Aurum metallicum, Selenium

Complementary : Badiaga

Inimical : Silica

#### ●主な水銀のレメディ

Aethiops antimonialis, Aethiops mineralis, Cinnabaris, Mercurius solubilis hahnemanni, Mercurius aceticus, Mercurius arsenicus, Mercurius auratus, Mercurius biniodatus cum kali iodatum, Mercurius bromatus, Mercurius corrosivus, Mercurius cyanatus, Mercurius dulcis, Mercurius fluoratus, Mercurius iodatus flavus, Mercurius iodatus ruber, Mercurius lacticus, Mercurius methylenus, Mercurius nitrosus, Mercurius phosphoricus, Mercurius praecipitatus albus, Mercurius praecipitatus flavus, Mercurius praecipitatus ruber, Mercurius rhodanatus, Mercurius salicylicus, Mercurius succinimide, Mercurius sulphocyanatus, Mercurius sulphuricus, Mercurius tannicus

## Mezereum ヨウシュジンチョウゲ [皮膚病と長骨の痛み]

Daphne mezereum L.

#### BACK GROUND

Daphne mezereum は，ジンチョウゲ科ジンチョウゲ属の植物で，ヨーロッパからコーカサス地方，トルコ原産です。広い範囲に分布し，森や低木林，雑木林などに自生し，また，広く庭木としても栽培されています。

樹高 60～150cm くらいの落葉低木で，樹形は自然に球状になります。花の時期には葉がなくて，葉は花が咲いた後に出てきます。開花期は早春で，ジンチョウ

ウゲに似ていて，花色は明るい藤色から赤紫になります。一般名は，Mezerei Cortex, Mezerei officinarum, Dwarf Bay, Flowering Spurge, Spurge Olive, Spurge Laurel, Laureole gentile, Camolea, Kellerhals, Wolt schjeluke, Daphne, February daphne などと呼ばれています。

この植物の樹皮は皮膚を刺激し，軽い炎症を引き起こして発赤し，疱疹ができることがあります。新鮮な樹皮はあまりいい臭いではありませんが，乾燥すると



臭いが少なくなります。舐めるとはじめはちょっと甘い味がしますが、すぐに粘膜が焼けるように刺激され、嘔吐と下痢が起こります。根の樹皮や実が、もっとも多くの刺激成分を含んでいます。

成分には、刺激性の成分である mezeen, くしゃみ誘発性の非晶形レジン, Diterpenoid (mezerein), Mezereic acid, 不揮発性油, グルコシド, ダフニンなどがあります。

Daphne mezereum は、その作用から「植物の水銀」とも呼ばれています。

## MATERIAL

開花期前の2月に採取した新鮮な樹皮

## FIRST PROVING

ハーネマン (『Chronic diseases』第2版)

## MIND

Mezereum タイプは、心配性で真面目です。寒がりで、骨の芯まで凍えるような反応をします。暖かい部屋でさえ、寒がります。

ひとたび何かを心配すると、胃が空っぽになった感覚になり、胃潰瘍になりがちです。1人になるとさらに不安になります。また、つまらないことでもイライラして、何もかも嫌になってしまうことがあります。優柔不断で、何かあると投げやりな態度を示すことがあります。日中はいつも眠気がします。睡眠中よく夢を見て、熟睡できません。ときには悪夢で午前2〜3時頃に、起きてしまうことさえあります。いつも食物を欲しがりますが、お腹が空いているわけではなく、胃の不快感をなくすために食事や牛乳を摂ります。脂っこいもの、ハムの脂身が大好きで、コーヒーやワ

インなども好みます。

皮膚疾患によって、さまざまな一般的症状が悪化する傾向があります。

## AFFINITY

主に、骨、神経、皮膚、粘膜に親和性をもっています。

## CLINICAL APPLICATIONS

Daphne mezereum は、主に皮膚病と長骨の痛みに対して使われます。

### ■皮膚

- ・水疱疹：黄色または白色の液体が貯留しており、時間とともに茶色に変化していきます。
- ・膿痂疹
- ・带状疱疹
- ・神経皮膚炎：激しいかゆみがあり、引っ掻いた後はかゆみの場所が移動します。皮膚のかゆみは、暖かいベッドで悪化します。
- ・頭皮の皮膚病：湿疹、乾癬など。多量の痂皮が見られ、過敏で頭を触られたくありません。

■長骨の骨膜の痛み：夜に悪化します。とくに脛骨。焼けるような痛みです。

■急性/慢性副鼻腔炎による痛み：触ると悪化します。

### ■生殖器系

- ・精巣の腫脹：性欲が亢進します。痛みを伴わずに陰茎と睾丸が腫脹します。
- ・女性の場合は、生理周期の短縮、量が多くなり、卵白様の帯下が出ることがあります。

### ■消化器系

- ・胃潰瘍：口腔内から咽頭、食道、胃にかけて焼けるような感覚があります。食事をしたり、牛乳を飲むと楽になります。

### ■その他

- ・不安症：不安になりやすく、胃の症状が現れます。とくに1人になると不安になります。

## MODALITY

▶ 温湿布（神経痛に）、何かに包まること、暖房、食事、外気など

◀ 寒く湿った気候、夜、温かい食事、温かいお風呂（かゆみ）、暖かいベッド（かゆみ）、触られること、生理中、ワクチン接種など

## RELATIONS

- ・Antidotes：Kali hypophosphoricum, Mercurius